

磐城時報

二十日 刊
編輯 石城郡平町新屋町十四
印刷 磐城印刷局
發行 磐城時報社
電話 一〇五五
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行十四字 一日五字 一月一元 三月三元 半年六元 一年十二元
休刊日 日曜、祭日、休刊

傳染病の流行するの 水道に塩素滅菌

一寸臭ひがする

連日の酷暑で平町附近に漸くついて實驗した結果簡易石油乳
傳染病が流行し始めて来たので劑並にウエトロン二千倍液を
平町水道部では周囲の事情を調かける事となり各村農會に夫々
査の上十三日から水道水に塩素指示した目下大騒ぎを演じて
滅菌装置を施す事になった。右の如く。

石城地方に 傳染病流行

邊境衛生係來平
傳染病の發生期に入り平警察署
では管内の各町村と連絡をとり
傳染病の豫防を講じつゝあるが
昨今の日照り続きから疫病、腸
「塩素滅菌は傳染病流行の際行
ふために設置してあるもので
平素は行つてゐない。十三日
から之を行ふ事になつたが、
之は水道水の中に約十万分の
一の塩素が加はるため臭覺の
極めて鋭敏な人は臭ひを感す
るかも知れぬが人体には何等
の害がなく、その結果總ての
細菌が死滅するわけであるか
ら安心して飲まれるわけであ
る。」

水田の 害虫駆除

石城郡の平原地方面水田に害虫石城郡四倉町では漁港修築促進省に此基礎測量をなす技術員の
蟬蛤が発生した事既報の如くでの前提として農林省から技術員派遣方を運動して貰ふために十
あるが、被害の最も甚だしいのは派遣運動をなすつゝあつたが日縣參事會員の一行が出納検査
は内郷、飯野、平、好間、夏井内閣の交迭と共に決定してゐたの爲めに來町したのを好機とし
神谷、玉川各方面でこの外大浦、技術員派遣も龍頭蛇尾に終りそをそれ、盡力方を依頼した。
草野、高久、豊間、小名濱、泉、うなどの同町役場當局では築港
鹿島方面も被害甚大である、こ既に同盟會と協力して技術員派
の被害反別は約一千町歩に上り遣の費用その他一切の費用を負
之が二割位の減収とならば大問題とする條件にて農林省に運動を中産階級以下細民救済のために
題なので郡農會では驅除方法になしつゝあるが縣當局からも本石城郡小名濱町では二萬二千圓

緊縮の祟り 望みなない、四倉漁港 技術員派遣方について 縣參事員に陳情

平町公設質屋
結局オヂヤンか

の大蔵省低利資金を借受け同町
字中島公有地に町公設質屋を
設置すべく過般町會において議
決し主務省にこれが認可申請を
なし去月五日付を以て内務大臣
から認可の指令があつたのでこ
れが開設準備に取りかゝつてゐ
たが政府の財政緊縮方針により
低利資金融通地方事業の起債に
まで影響して一般から非常な期
待を受けてをり庶民金庫とも目
を、細民救済の公設質屋は起
債が出来ない状態にあるので一
時中止の止むなきに置かれてあ
る有様となり各方面から極度に
惜まれてゐる。

軌道取はづし催促で 會社側面喰ふ 將來は電鐵にするこ 苦しい答辯書提出

石城郡湯本、平間約三里の國道
に敷設してある死骸の様な日本
鐵道事業會社の軌道は數年來自
營業繼續の意志あるか、運轉休
止は一時的か永久的か、更に又
より命令してもらひたいと叫ば
が、回答の如何に依つては軌道
を撤退を命ぜられることに至る
が、同軌道は將來電氣に様
替する計劃ありといはれてゐる
替する計劃ありといはれてゐる

南町成田不動尊に 一夜二ヶ所に放火

平町南町成田不動尊附近に十一
日午前三時頃二ヶ所に放火した
ものあり、燃え上つた物音が驚
いて附近の人々が起き出で幸ひ
日中に逮捕さるゝに至るであ
大事に至らぬうちに消し止めた

青年雄辯大會の辯士 大部分は危険な演説 中止命令をうけた者もある

神谷村黎明會主催石城郡下青年
雄辯大會は十日午後六時から平
町警察署に開催されたが、辯士
二十余名中三四名の者は平素
の過激思想を帯びてゐる者であ
るため警察署では特に伊藤警
部補を會場に派遣し監視せしめ
たが、豫期の如く辯士中には過
激な演説を試みて中止を喰つた
者もあつた。

平第一臨海學校通信(第四信)

八月九日(晴)
お父さん、お母さん、それか
ら御家の皆さん、御變り御座
りませんか。僕は毎日裸虫
の様に黒光りする体をお天
う様にあてゝゐます。
昨夜ある筈であつた談話會は
おそくなつて蚊にせめられた
ので今夜に延期されたので早
く床に入りました。十時頃か
ら強い雷雨がありましたので
明日はだめ……くやしいなア
……と思ひながら、久しぶり
で朝寝が出来ると、すつかり
目さましたのは六時一寸前
雨だらうと思つて外を見ると
太陽が僕等の朝寝をあざける
様にニコニコと笑顔をみせて
ゐました。おかげで朝の散歩
はおちやんとなつて、校庭で
朝の体操をすました。
今日は久の濱へ遠足です。九
時、お辨當を手には、磯傳ひに
進みました。途中の波にかま
ひ、美しい貝、石をひろひな
がら、波立薬師に着きました
物凄、これでは……と思は
せる鰐が淵を見て、膚にあわ
立つ覺えをいたしました。
西行法師の薬師寺について
みちのくの木奴美が浦に一

おやつ……お風呂……夕食。
いよ、談話會。きつと昨夕
からさつておきのもので盛ん
な會が開かれるでせう。

海氣館で海上煙火

酷暑続きの反映として石城各海水浴場は毎日素晴らしい人出で賑わつてゐる。郡内に於ける海水浴の中心地は交通の便が良い小名濱と四倉とであつて滞在客は小名濱四千名、四倉三千名、それに毎日日歸りで押かける浴客は一日一萬人を數へる程である。各浴場では浴客の歓迎方法を講じ、それに毎日の様に団体其の他の催しがあるが、四倉濱の海水浴場では十日午後からこれ又浴客慰安として海上において花火數十發を打ち揚げたが、各濱は近年にない賑ひを呈してゐる。

入山炭礦 プール開き

石城郡湯本町入山採炭株式會社では従業員慰安のため工費金八千余圓を投じて大プールの新築工事中であつたが工事完成したので十一日午前八時盛大な開場式を舉行し終つてから二百メートル、ワッシャー、個人競泳の余興を行つた。

十三日會例会

十三日會例会は十三日午後七時から常磐銀行樓上に開き平商業學校長吉田利吉氏の庶民金融について講演がある。

實銀出張所廢止

田町の磐城實業銀行出張所は近來の不況から成績思はずから廢止すべく豫て本店より行員を派し預金の整理中であつたが前半期中は未整理に終つたので目下農家の舊盆決算期にあれば大

車輪で整理を急ぎつゝあり今期中には遅くも整理完了の見込みである。

古河礦社員慰安

城郡好間村古河炭礦社員七十余名は十一日海岸近くの鮫川に於て慰安清遊をなしたが同所附近は最近清遊地として漸く知られ連日多數の遊覽者を見てゐる。

かけた詐欺漢

愛知縣愛知郡長久生れ與吾運太郎(五二)は富山縣三日市町で詐欺を働き所在を晦ましたので全國各警察署において同人の行方を捜査中であつたが運太郎は内縁の妻が石城郡湯本町字三箇飲食店二葉方に結婚して働いてゐるのを頼り同家に潜伏してゐた事平署で探知九日夜同人を逮捕し取調中であるが同人は稀代の詐欺漢で全國を股にかけて詐欺を常習としてゐた者である。

まむしに咬まる

城郡好間村字上好間金成長次妻ふよ(五三)は十日午後六時半頃桑摘みの歸途自宅附近で蚊に咬まれ毒が全身にまわつて生命危篤。

ハガキ集

投書歓迎
▲共済病院向ひの××さんにお伺ひ致しますわ、貴女が去る日のハガキ集に出た事はほんどうの事ですか、わたしはそれとも知らずに今まで貴女を影ながら戀慕つてゐたのですが、アノ事を讀んでからわたしの心は掻き亂されてしまひました、わたしは、なん

時報文藝

夏 (七) H S 生
「この海は、日本の國の一番端れなんだね」とは少年Hの話「海に向つては、亞米利加なんだよ」と返事する。子供は實に純である、僕等も此の時代を經て來たが、然しそれ程無邪氣だつたらうか、判然しないだが、誰だつて僕は無邪氣だ

烏節御料理

仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
電話四二四番

柳子井川

電話四二四番

鰻魚榮

よと言ふ少年はない筈、尤もだ、自己を意識し、自己は純だ等と考へたり言つたりするものに、純があつたためしは無からう。大人は何か統一されて居るからこそ、自己を知るのであらうが、反對に複雑した社會苦の中に産れ、思ふ丈の産聲を擧げて躍動する子供の、足許にも追付かない事を考へねばならない、神聖と謂ふ言葉が出て始めて人は氣がつく。

四倉の港にもキラ／＼電燈がちらつく、月は赤く東の海上をはなれて水平を照す。繪にしたい程の月は其夜のベニスを想像させるのに苦しくない實にいゝ月だ。

大内提燈

算盤の桁を外して廉賣致します。どうぞお立寄の程を
平町一丁目(日進堂隣)
電話(呼)三三三六番

中元贈答品御案内

体裁優美な
箱入タオル 三十六位位より
箱入半布 七十位位より
箱下靴 一圓二十位位より
ポリエステル 一圓二十位位より
ポリエステル 二圓三十位位より
特製赤箱石鹼 半打入 二十五位
其他各種 便利な商品券を御利用下さい
平町四丁目 ツルヤ商店
電話百四十

亡母ツル新益に相當居候處

時節柄提燈その他供物は一切御辭退申上ぐる事に致し候間御諒承被下度候
平町紺屋町 佐藤作平

亡母儀新益に相當候へども

時節柄提燈その他供物の御贈與一切御辭退申上度此段以紙上御諒願上候
平町一丁目 飯田近治

父乙三郎儀新益に相當り候へ

共時節柄提燈其他一切の供物御辭退仕度候條何卒不惡御諒承被成下度以紙上申上候也
平町搔龜小路 阿部政右衛門

父喜代松儀新益に相當候

共時節柄提燈其他供物の御惠與一切御辭退仕り度此段御諒願上候
平町一丁目十四番地 柏原喜八郎

肺病助膜 専門藥

不バ錠 藥價 十一日分 七〇〇
廿三日分 二〇〇〇
▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。
▲説明書密送す、御申込あれ。
代理店 平町 山野邊藥局
五丁目角